

# 平成28年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」 概 要

多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し支え合う「共生社会」を、地域において築いていくためには、住民や非営利団体、行政機関等による取組の充実が必要不可欠である。こうした認識の下、平成27年度までの青年社会活動コアリーダー育成プログラムの成果を生かしつつ、高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の課題解決に向けた取組に携わる日本青年を、先進事例のある外国に派遣し、組織で活動する青年リーダーとの交流を通じて、各分野の課題対応の方策とともに、組織の運営、関係機関等との連携及び人的ネットワーク形成に当たって必要となる実務的な能力の向上を図ることを目的として実施する。

平成28年度事業では、**高齢者関連**についてグレートブリテン及び北アイルランド連合王国（以下「英国」という。）、**障害者関連**についてフィンランド共和国、**青少年関連**についてドイツ連邦共和国を交流対象国とし、**日本青年等を派遣**するとともに、各国から青年を日本に招へいすることとしている。

<日本青年海外派遣の概要> （注）本概要は平成28年度予算政府案に基づく平成28年1月現在時点の予定であり、訪問国及び日程は、今後変更することがある。

## 1 派遣プログラム

### (1) 訪問国

高齢者関連は英国、障害者関連はフィンランド共和国、青少年関連はドイツ連邦共和国を訪問

### (2) 訪問日程

平成28年10月9日（日）から18日（火）までの10日間

### (3) 派遣人員

各訪問国に、それぞれ団長1人及び参加青年8人の計9人を派遣

### (4) 訪問国における活動

活動分野ごとに、各テーマに基づき社会活動の現場の視察や意見交換等を行う。

高齢者関連活動：テーマ「地域における高齢者支援に必要な連携」

障害者関連活動：テーマ「地域における障害者の社会参画の更なる拡大」

青少年関連活動：テーマ「子供・若者の育成支援に関わる人材の養成」

### (5) 渡航手段

渡航に用いる交通手段は、航空機とする。

## 2 研修

青年海外派遣の効果を最大限に高めるため、参加青年に対して以下の研修を実施する（東京都内で合宿形式により実施）。

### (1) 事前研修

#### ア 時期及び期間

平成28年6月24日（金）から26日（日）までの3日間（2泊3日）

#### イ 研修目的

事業の趣旨、内容及び訪問国等についての理解を深め、必要な諸準備を行うとともに、参加青年としての心構えや訪問国における活動の基本を習得、併せて出発前研修までの自主研修期間の準備と目標を明確にする。

### (2) 出発前研修

#### ア 時期及び期間

平成28年10月7日（金）、8日（土）の2日間（10月7日から出発日である9日までの間、2泊する。）

#### イ 研修目的

訪問国における諸活動の最終準備と確認等を行う。

### (3) 帰国後研修

ア 時期及び期間

平成28年10月19日(水)、20日(木)の2日間(帰国日である18日から2泊する。)

イ 研修目的

事業成果を取りまとめ、その成果を踏まえた事業終了後の諸活動への理解を深める。

### 3 構成員の任務と選任等

(1) 任務

ア 団長は、派遣団を代表するとともに、参加青年を指導し、派遣団の活動を統括する。

イ **参加青年**は、団長の指揮に従い、団体行動の下に、研修及び派遣プログラムに参加し、団務を分担する。

また、事前研修後の自主研修期間にあつては、訪問国についての知識や語学能力の向上に励むとともに、我が国の歴史や社会情勢の認識を深めるなど、積極的に派遣プログラムの準備に努めなければならない。

ウ 団長及び**参加青年**は、帰国後、活動報告書を定められた期限内に内閣府に提出する。

エ **参加青年**は、事業参加後およそ1年後、2年後、3年後、4年後、5年後、10年後に内閣府が行うフォローアップ調査(活動状況等)に回答する。

(2) 選任等

ア 団長

内閣府が任命又は委嘱する。

イ 参加青年

都道府県知事(青年国際交流主管課(室)が教育委員会に属する場合には、教育長)又は全国的組織を持つ青少年団体等の代表者から中間選考を経て推薦された者の中から、内閣府が選考し、決定する。

### 4 経費

(1) 事業の実施のための経費((2)、(3)及び(4)に掲げるものを除く。)は、出発前研修に参加するための国内上京旅費及び帰国後研修終了後の国内帰郷旅費(東京23区内在住の者を除く。)を含め、内閣府が負担する。

(2) 次に掲げる経費は、参加青年本人の負担とし、参加費として参加青年から徴収する。(10万円程度)

ア 渡航に要する往復航空運賃の一部 (※1)

イ 事前研修、出発前研修及び帰国後研修における宿泊料等及び食費

ウ 旅行保険料等

(3) 日本における事後活動組織である日本青年国際交流機構への入会金(3万円)(※2)は、参加青年本人の負担とする。

(4) その他、以下の経費についても参加青年本人の負担とする。

ア 事前研修に参加するための往復旅費

イ 旅券発行手数料、予防接種料

ウ 疾病又は傷害の治療費用及びそれに付随する費用

エ 小遣いその他の個人の用に必要な経費

(※1) 往復航空券については、事前研修終了後、参加青年として決定された者に対して、発券作業が行われる。発券後、事業参加を辞退し、航空券のキャンセル料が発生する場合、キャンセル料は青年の一部負担する金額の範囲内で青年が負担するものとする。

(※2) 各事業に参加した後は、社会活動に取り組んでいる日本青年国際交流機構(内閣府の青年国際交流事業に参加した青年等が自主的に組織している事後活動組織)に入会して、そのネットワークを生かしながら様々な形で活動することが基本となる。

平成27年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム

高齢者分野（ドイツ）行動日程

テーマ「生きがいのある高齢者の生活」

月日	訪問地	主な活動内容
10月11日 (日)	ベルリン	成田→ベルリン
10月12日 (月)	ベルリン	ドイツ社会福祉協議会訪問 リヒテンベルグ区認知症対応型コミュニティ・通所型高齢者デイケアセンター訪問
10月13日 (火)	ベルリン	ドイツ連邦政府家族・高齢者・女性・青年省訪問 ドイツ高齢市民組織全国協会代表との昼食 在ドイツ日本国大使館訪問
10月14日 (水)	ベルリン→ ゲルセンキルヒェン	ゲルセンキルヒェン市長による歓迎 ZWAR（高齢者近隣ネットワーク）訪問
10月15日 (木)	ゲルセンキルヒェン→ フランクフルト	社会福祉法人フランクフルト・フェアバンド訪問 関連施設訪問
10月16日 (金)	フランクフルト	社会福祉法人フランクフルト・フェアバンド訪問 関連施設訪問
10月17日 (土)	フランクフルト	団内振り返り、活動記録のまとめ ホームステイ
10月18日 (日)	フランクフルト	ホームステイから戻り ホストファミリーとの送別夕食会
10月19日 (月)	フランクフルト→	評価会 現地受入れ団体との振り返り会 フランクフルト発
10月20日 (火)		羽田着

## 平成27年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム

### 障害者分野（英国）行動日程

テーマ「障害者の社会参加のための支援」

月日	訪問地	主な活動内容
10月11日 (日)	ロンドン	羽田→ロンドン(ヒースロー)
10月12日 (月)	ロンドン	在英国日本国大使館訪問 全国ボランティア団体協議会(NCVO)訪問 歓迎夕食会
10月13日 (火)	ロンドン	障害児協議会訪問 労働年金省・障害問題庁訪問(英国の障害者福祉制度についての講義)
10月14日 (水)	ロンドン	内閣府・市民社会庁訪問(各省が取り組む障害に関する施策及び非営利団体と政府の連携についての講義)
10月15日 (木)	ロンドン→ ブライトン	スライブ(園芸療法チャリティ団体)訪問 レオナルド・チェシャー・ディスアビリティ・コミュニティリソースセンター訪問
10月16日 (金)	ブライトン	ザ・フェド(当事者中心のチャリティ団体)訪問 ステイ・アップ・レイト(自閉症青年の余暇支援団体)訪問及び活動への参加
10月17日 (土)	ブライトン	自主研修 ホームステイ
10月18日 (日)	ブライトン→ ロンドン	ホームステイから戻り ホストファミリーとの送別昼食会 ヘッドウェイ・イースト・ロンドン(脳損傷者支援団体)職員との夕食懇談会
10月19日 (月)	ロンドン→	インクルーシヴ教育連盟訪問 ヘッドウェイ・イースト・ロンドン訪問 NCVOにて評価会 ロンドン(ヒースロー)発
10月20日 (火)		羽田着

## 平成27年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム

### 青少年分野(オーストリア)行動日程

テーマ「ユースワーカーの育成の在り方」

月日	訪問地	主な活動内容
10月11日 (日)	ウィーン	成田→ウィーン
10月12日 (月)	ウィーン	連邦家族・青年省訪問(青少年施策についての概要説明) 青少年情報センター訪問 スカウトグループとの活動交流歓迎夕食会
10月13日 (火)	ウィーン	余暇教育学研究所訪問 連邦家族・青年省ソフィー・カルマシ大臣表敬訪問 在オーストリア日本国大使館訪問 歓迎会
10月14日 (水)	ウィーン	ヤング・カリタス(ソーシャル・ボランティア)訪問 ギムナジウム(中学・高校レベル)訪問 スペースラブ(青少年雇用プロジェクト)訪問
10月15日 (木)	ウィーン→ ザルツブルグ	アクツェンテ・ザルツブルグ訪問(ザルツブルグのユース・ワークについての講義) ヨーコー・ユース・センター訪問 歓迎会
10月16日 (金)	ザルツブルグ	スペクトラム・レーエン(ユース・ワーク団体)訪問 ラジオ・ファブリーク(青少年向けコミュニティラジオ)訪問 レテット・ダス・キンド・ザルツブルグ(青少年と障害者のための共同生活プロジェクト)訪問
10月17日 (土)	ザルツブルグ、ウィーン	ホームステイ(ザルツブルグ及びウィーン)
10月18日 (日)	ウィーン	ホームステイから戻り 振り返りと評価会
10月19日 (月)	ウィーン→	ウィーン発
10月20日 (火)		成田着